



第 66 回

市展

石岡市美術展

受賞作品集



主催 石岡市・石岡市教育委員会

開催概要

主 催

石岡市・石岡市教育委員会

部 門

日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書・写真・デザイン

会 期

【通 常 展】令和7年12月15日（月）から12月21日（日）まで

【受賞作品展】令和8年1月16日（金）から1月20日（火）まで

会 場

【通 常 展】

第1会場 石岡市八郷総合支所 1階「郷の風」（日本画・彫刻・工芸美術・書）

第2会場 石岡市八郷総合支所 1階 101～103 会議室（洋画・写真・デザイン）

【受賞作品展】

石岡市役所本庁舎 1階「メロディアスホール」

審 査

＜令和7年度審査員＞ ※部門内50音順、敬称略

日本画部門：秋元 了典・富田 四郎・飛澤 龍神

洋画部門：安部田 保彦・高橋 弘子・塚田 芳夫・村上 朝雄

彫刻部門：磯山 芳男・六崎 敏光

工芸美術部門：田谷野 良一・増山 みゆき

書 部 門：小松 雲峰・助川 雲洲

写 真 部 門：岡田 ひろし・久保 盛義・竹内 誠

デザイン部門：大場 節男・竹越 萌野

※区分について

実行委員	市展の運営に携わるもの	委 嘱	実行委員に認められたもの
審 査 員	当該年度の石岡市展の出展作品を審査するもの	無 鑑 査	前年度に市長賞を受賞したもの
参 与	長年石岡市展の審査員を務め特別に認められたもの	学 生	高校生の出展者

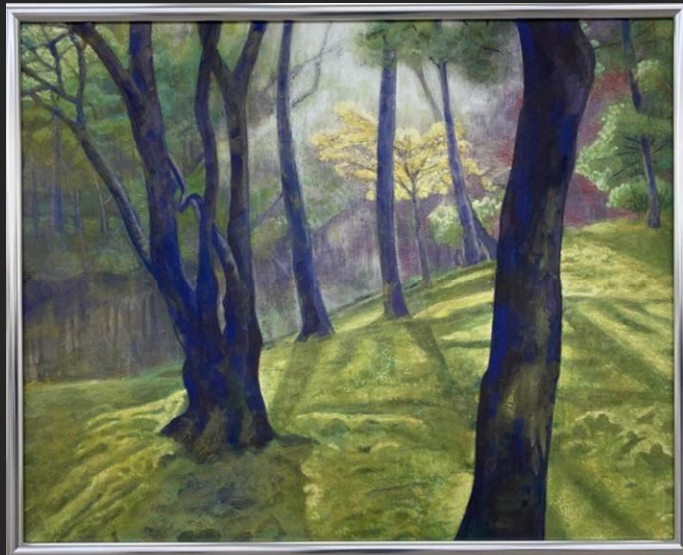
第66回石岡市美術展入賞者一覧

賞	部門	氏名	作品名
茨城県知事賞(3名)	日本画	佐藤 壽子	ふりそそぐ光
	書	岡野 趙洋	感謝
	写真	岡野 美郎	花見仲間
市長賞(4名)	日本画	矢口 時子	秋・羊草
	洋画	大圖 達也	生命樹の警鐘
	書	平岡 紅蘭	致子虚病叟社丈
	写真	川田 みのる	高い高い
議長賞(7名)	日本画	高栖 敬	新宿る
	洋画	伊東 恵子	高浜の町並
	彫刻	吉田 實	木彫 五大明王
	工芸美術	間嶋 實	法隆寺 五重塔(奈良)
	書	中田 秀園	唐詩
	写真	村瀬 充	彼方
	デザイン	劉 芷含	さざ波
教育長賞(7名)	日本画	平塚 美津子	森に佇む静かな沼
	洋画	菊地 菜穂美	中秋
	彫刻	大和田 正人	はたらきもの
	工芸美術	菊池 節夫	顰
	書	野口 幸苑	古今和歌集より
	写真	糸賀 笑心	斜陽
	デザイン	李 丙勳	三体の魔女
奨励賞(34名)	日本画	市川 信明	不射之射
	日本画	井上 和子	晩夏
	日本画	潮田 俊子	ユリの花
	日本画	荻沼 素雪	山本五十六の言
	日本画	福田 耕村	100歳現役(農夫)
	洋画	荒井 久美子	洗足池のほとり
	洋画	市村 京子	原田邸のガーデンだより 1
	洋画	小林 仁美	彩り
	洋画	佐々木 陽一	洋館のある中庭
	洋画	出地 章道	Wall Scenery 23
	洋画	鈴木 信子	甦る沼地
	洋画	惣野代 和彦	夕日の丘で II
	洋画	濱本 きみ子	待つ
	彫刻	中泉 洵	消しかす

賞	部門	氏名	作品名
	工芸美術	秋元 美津子	うたかた(紺紙金泥・絹紙布)
	工芸美術	磯山 孝一	獅子頭
	工芸美術	大倉 敬行	花器 Composition 弁柄の詩
	工芸美術	工藤 賢治	煩惱と喜怒哀楽
	工芸美術	篠崎 清	おみこし
	工芸美術	蟬殻	蟻ノ巣
	工芸美術	鵜田 和夫	黒式尉
	工芸美術	細矢 正志	鳥海山北麓の獅子頭(改)
	工芸美術	前島 義雄	大癪見
	書	石井 竹泉	臨 邠風図詩卷
	書	大塚 梢扇	儲光義詩「長安道」
	書	三輪 理道	陳允平詩
	書	谷仲 和子	七言二句
	書	渡邊 紫水	いろは歌
	写真	石上 富夫	湖上の競艶
	写真	坂本 怜垂	芸術は鼻先から
	写真	櫻井 一郎	大きいなあ
	写真	櫻井 重夫	注目
	写真	山田 勇	黒アゲハ蝶の楽しみ
	デザイン	福島 浩史	紅白玉入れ
学生奨励賞(7名)	洋画	劉 芷含	ゴッホの中の私
	書	坪 ひなた	王羲之 蘭亭序臨書
	書	金久保 さくら	臨 米芾 紫金研帖
	書	小嶋 斎	臨 藤原佐里 詩懷帖
	書	野坂 眞生	臨 蘭亭序
	書	野村 歩美	臨 小野道風 屏風土代
	書	宮本 輝	臨 貫名菴翁 左繡序

日本画部門

茨城県知事賞



「ふりそそぐ光」
佐藤 壽子

【講評】

光の降り注ぐ様がよく表されていて、
木々の形もよい感じに描かれた秀作。

市長賞



「秋・羊草」
矢口 時子

【講評】

色彩をうまく統制されたところが良い。
構図も安定したもので、見る者に
静かな池畔の感じを伝えてくれる。

日本画部門

議長賞



「 神宿る 」
高栖 敬

【 講 評 】

大木と光が神を宿らせているように
見せ、また森の木々の中の感じが
素晴らしい表現となっている。

教育長賞



「 森に佇む静かな沼 」
平塚 美津子

【 講 評 】

高原にある湿地の形や木々の紅葉など
複雑なところも丁寧に描き込まれて
いる佳作。

日本画部門

奨励賞



「不射之射」

市川 信明

モチーフとして興味深い作品。
さらに色彩や構成と研究されますよう。

奨励賞



「晩夏」

井上 和子

向日葵で季節を表現した作品。
過ぎ去る日々の思いでしょうか。

奨励賞



「ユリの花」

潮田 俊子

咲いた百合を楽しく描いた気持ちが伝わる作品。

奨励賞



「山本五十六の言」

荻沼 素雪

文字とダルマの組み合わせで、見る者に共感を誘う
作品となっている。

日本画部門

奨励賞



「100歳現役(農夫)」

福田 耕村

手の表現が素晴らしい。顔の表現もさらに追及を求む。

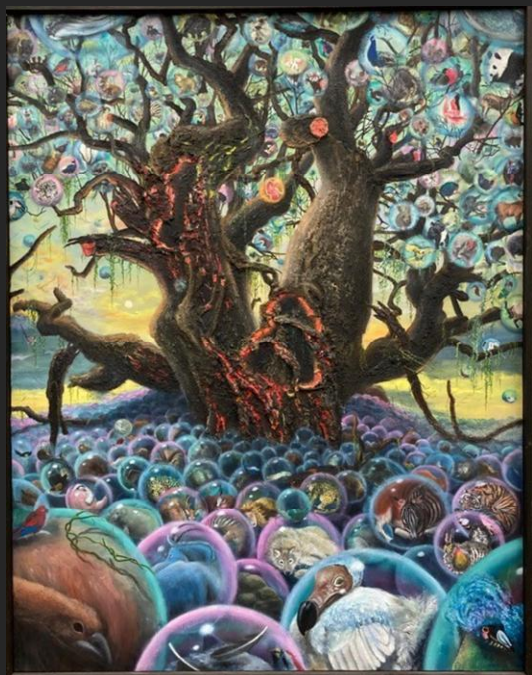
洋画部門全体の講評

全体として、作品の内容は高くなっていると感じました。

色彩、構図など、基礎的なことも良いと思いますし、50号までの大きさまで出展できますので、大作を出展してほしいところです。

洋画部門

市長賞



「生命樹の警鐘」
大圖 達也

【講評】

命への警鐘、強いエネルギーを感じる。
画面の隅々まで丁寧に仕上げている。
独特な表現の中に優しさと労りを感じる
作品である。

議長賞



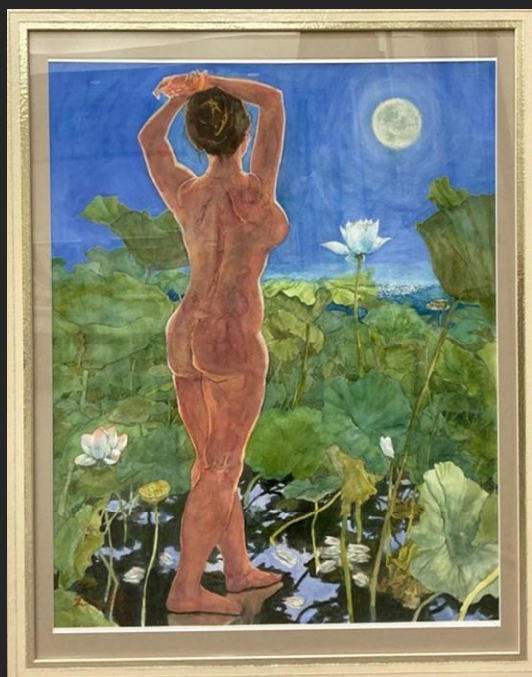
「高浜の町並」
伊東 恵子

【講評】

優しく個性的な色使いでリズム感があり、
こんな町で暮らしてみたいと思う作品で
ある。

洋画部門

教育長賞



「 中秋 」
菊地 菜穂美

【 講 評 】

作品の人物は、さわやかな緑、透き通った空気の中で精一杯の喜びを感じている。何とも美しい作品だ。

奨励賞



「 洗足池のひとり 」
荒井 久美子
さわやかで穏やかな透明感がある。

奨励賞



「 原田邸のガーデンだより 1 」
市村 京子
花の香りが漂っている。

洋画部門

奨励賞



「 彩り 」
小林 仁美
淡い色調が心地よい。

奨励賞



「 洋館のある中庭 」
佐々木 陽一
丁寧にしっかり描いています。

奨励賞



「 Wall Scenery 23 」
出地 章道
躍動的で広がりのある作品である。

奨励賞



「 甦る沼地 」
鈴木 信子
メッセージ性を強く感じる。

洋画部門

奨励賞



「夕日の丘で II」

惣野代 和彦

懐かしさを感じ、ほっとする。

奨励賞



「待つ」

濱本 きみ子

色彩に工夫が見られる。

学生奨励賞



「ゴッホの中の私」

劉 芷含

人物とゴッホが語り合っている。

洋画部門全体の講評

個性的な作品が多く見られた。

さらに、力作が多く、賞を決定するのが困難だった。

出展者層が広がったことも、うれしい限りだ。

彫刻部門

議長賞



「木彫 五大明王」
吉田 實

【講評】

独自の捉え方で五大明王を表現している。周りの四体の像の上肢下肢の動きがいい。顔の表情をもう少し追求工夫できると更によい。
五体の像の色のバランスもなかなかよい。

教育長賞



「はたらきもの」
大和田 正人

【講評】

牛と人間の関わりの情感が伝わってくる。量のかたまりとしては、創ろうとしている方向性が出ている。
骨格や筋肉の関係をもっと追求したいところである。

彫刻部門

奨励賞



「消しかす」

中泉 洵

寄木にチャレンジし、モチーフを大きく木彫で表現したことが高く評価される。

彫刻部門全体の講評

出展者が3人増え、出展数も2点増えた。喜ばしいことである。

特に高校生が意欲的な大作を出してきた。彫刻として見どころのある面白い作品で
今後が期待される。

工芸美術部門

議長賞



「法隆寺 五重塔(奈良)」
間嶋 實

【講評】

手間と時間をかけて、細部にわたり
作り込まれた造形の説得力を感じます。
素晴らしい大作です。
屋根の先に下がる風鐸まで、よく作られて
います。見ごたえがあります。

教育長賞



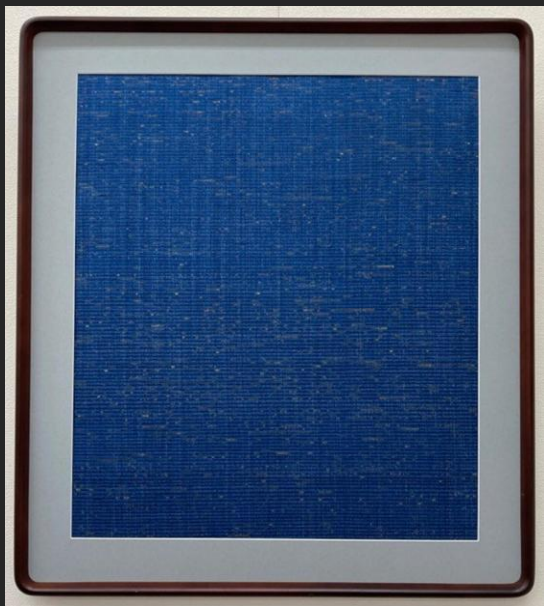
「顰」
菊池 節夫

【講評】

迫力ある面ができましたね。
表面のなだらかさが際立ちます。

工芸美術部門

奨励賞



「うたかた(紺紙金泥・絹紙布)」

秋元 美津子

手の込んだ藍色のゆらぎのような
金泥文様がすてきです！

奨励賞



「獅子頭」

磯山 孝一

迫力がすごいです！

奨励賞



「花器 Composition 弁柄の詩」

大倉 敬行

弁柄色が映えますね！

奨励賞



「煩惱と喜怒哀楽」

工藤 賢治

人間の性を感じますね！

工芸美術部門

奨励賞



「 おみこし 」

篠崎 清

稲を咥えた鳳凰がかわいいです。

奨励賞



「 蟻ノ巣 」

蟬殻

壺に蟻の巣を持ってくるセンスが素敵です！

奨励賞



「 黒式尉 」

鴫田 和夫

黒の顔に白い髭がかっこいい！

奨励賞



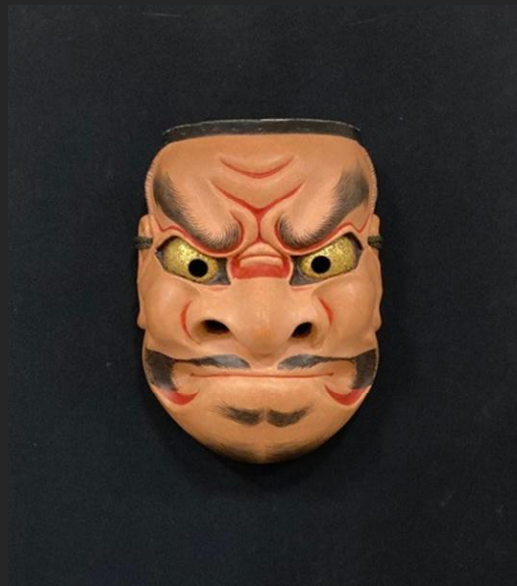
「 鳥海山北麓の獅子頭(改) 」

細矢 正志

角が付くと、さらに迫力が出ますね！

工芸美術部門

奨励賞



「大癡見」

前島 義雄

迫力がすごい！髭や眉の筆使いが素晴らしいですね。

工芸美術部門全体の講評

時間をかけて細かい仕事を積み上げる作品が多くありました。

初めての方、常連の方も作品を作り上げる努力が感じられました。

書部門

茨城県知事賞

「感謝」

岡野 趙洋



【講評】

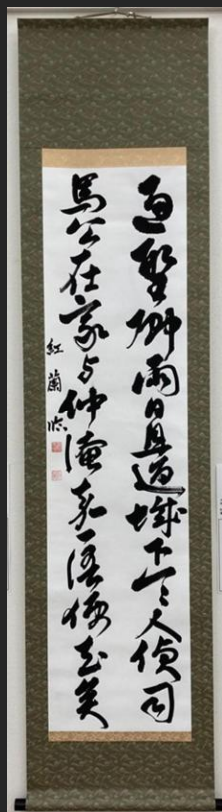
静かな運筆で、句意をよく表現している。

心に響く作品になっている。

市長賞

「致子虚病叟社丈」

平岡 紅蘭



【講評】

多文字の臨書、二行にまとめ、力強く表現されている。

墨をもっと多く使いたい。

書部門

議長賞

「唐詩」

中田秀園



【講評】

明るく温和な作にまとめている。
墨をもう少し多くしたい。

教育長賞

「古今和歌集より」

野口幸苑



【講評】

仮名作品であるが、漢字に比しても、リズム感と切れ味を感じる作になった。
墨の配置に工夫が欲しかった。

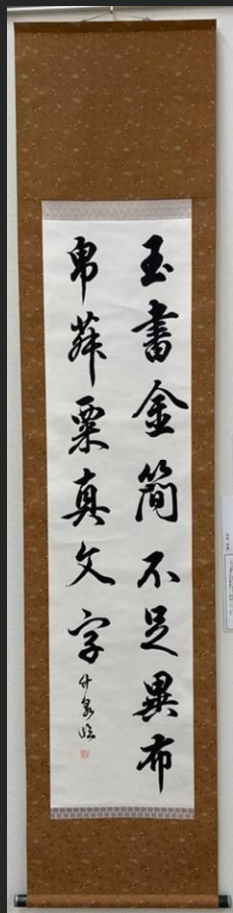
書部門

奨励賞

「臨 邠風図詩卷」

石井 竹泉

重さと温かさの作となって良い。



奨励賞

儲光義詩 「長安道」

大塚 梢扇

字はかなりの腕だ。表装にも注意がほしい。

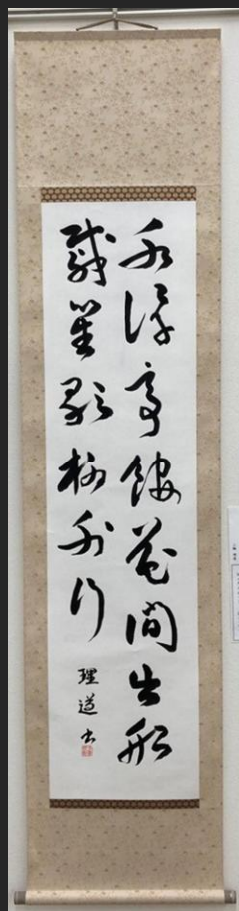


奨励賞

「陳允平詩」

三輪 理道

行の中心を揃えて、草書をしっかりと書いている。

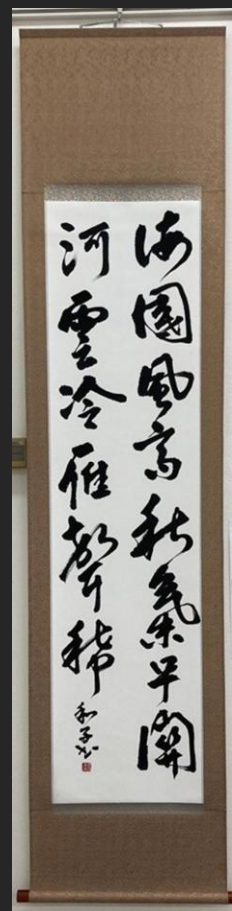


奨励賞

「七言二句」

谷仲 和子

基本に則り、穏やかな作になった。



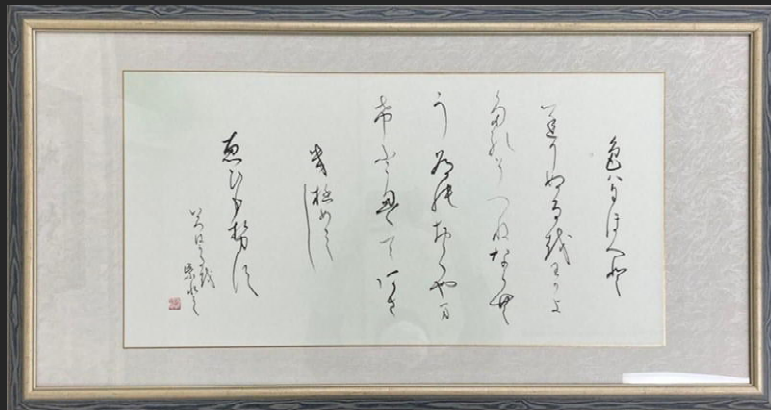
書部門

奨励賞

「いろは歌」

渡邊 紫水

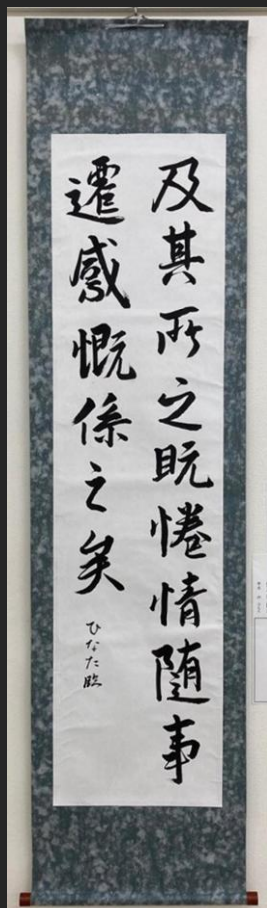
半切1/2にまとめて良いが、字幅、墨色の
変化もほしい。



学生奨励賞

「王羲之 蘭亭序臨書」 坪 ひなた

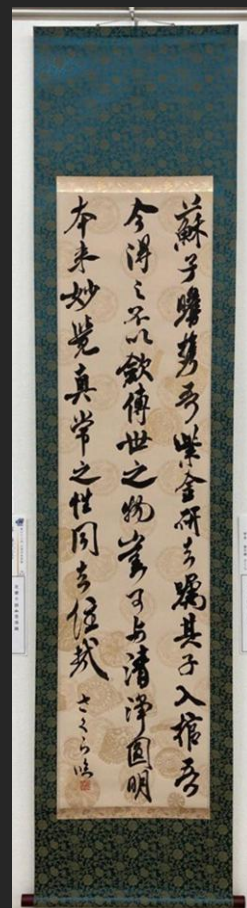
無難にまとめている。流れが出るともっと良くなる。



学生奨励賞

「臨 米芾 紫金研帖」 金久保 さくら

米芾の特色を良く臨書した佳作。

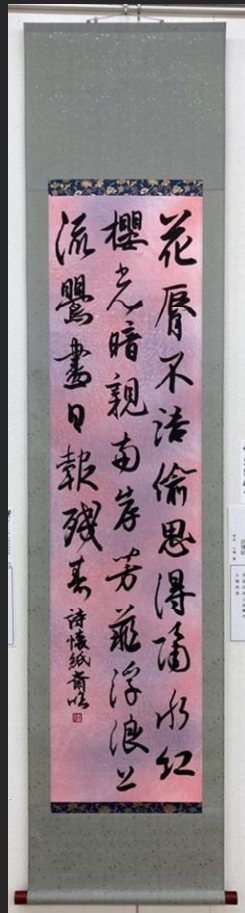


書部門

学生奨励賞

「臨 藤原佐里 詩懷帖」 小嶋 斎

形をよく見て臨している。細い線も少し頑張つて。



学生奨励賞

「臨 蘭亭序」 野坂 眞生

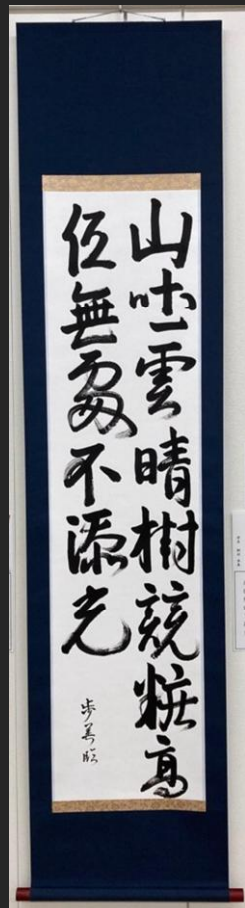
蘭亭序を伸びやかに臨して好感あり。



学生奨励賞

「臨 小野道風 屏風土代」 野村 歩美

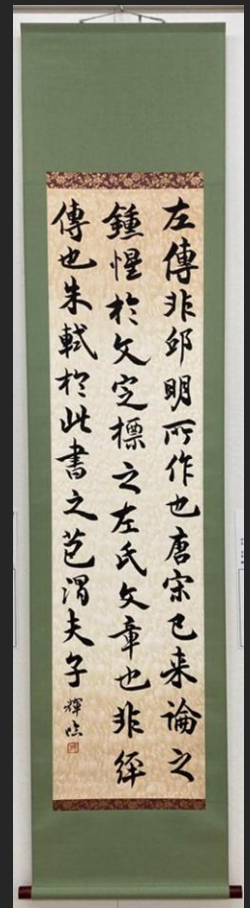
屏風土代の線がよく出ている所もあるも、細部に注意を。



学生奨励賞

「臨 貫名菰翁 左繡序」 宮本 輝

形臨三行の作。気が入って良い。



書部門全体の講評

公募の作品で意欲的な出展作があり、良かった。

高校生の作も一般の部の人たちが参考になる作品があり、良い傾向である。

写真部門

茨城県知事賞



「花見仲間」
岡野 美郎

【講評】

技術の高さを感じます。

独創性があり、見応えがあります。

市長賞



「高い高い」
川田 みのる

【講評】

石岡を代表する祭りで、民度の深さを感じます。

写真部門

議長賞



「 彼方 」
村瀬 充

【 講 評 】

センスの光る作品です。
もう一つ、船でもあれば最高です。

教育長賞



「 斜陽 」
糸賀 笑心

【 講 評 】

夕日の中に消えていく人影が記憶に残る良い作品です。

写真部門

奨励賞



「湖上の競艶」

石上 富夫

花火は見事ですが、物足りなく、観客の人影でもあれば、もっと良いと思います。

奨励賞



「芸術は鼻先から」

坂本 怜亜

大胆な切り取りは見事。ピントがあまい。びしりと合っていれば良かった。

奨励賞



「大きなあ」

櫻井 一郎

構図の取り方は大変良い。人物が前を向いて表情が見えれば、もっと良かった。

奨励賞



「注目」

櫻井重夫

境内の石仏が見事です。人物が後ろ姿でなく、前を向いていたら、もっと良い。

写真部門

奨励賞



「黒アゲハ蝶の楽しみ」

山田 勇

スッキリハッキリ良く撮影されています。
でも、わくわくがほしい。工夫がほしい。

写真部門全体の講評

若者は電子機器に心が依存し、今までの文化に関心が薄いように感じる。
文化の形態が変化してきており、高齢者ばかりで作品が少なくなっています。
若者にどうしたら今までの文化の良さが伝わるか。
今年は良い作品が多く、見応えがあります。

デザイン部門

議長賞

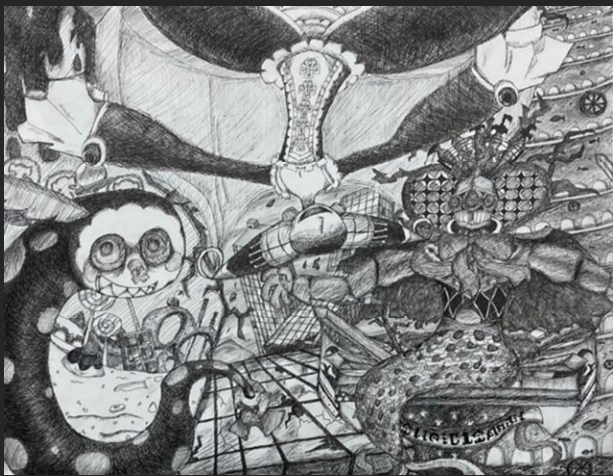


「さざ波」
劉 芷含

【講評】

構図の良さ、絵が整理されている。
テーマに対しての表現力を感じます。
何より絵の技術力があり、明暗の付け方が非常にうまいです。

教育長賞



「三体の魔女」
李 丙勳

【講評】

描いた方の世界観が伝わってきます。
構図、モチーフにもアイデアがあり、
個性が出ています。絵に力強さを
感じました。

デザイン部門

奨励賞



「紅白玉入れ」

福島 浩史

構図の面白さ、デザイン的にまとまっており、平面的ながらも動きが感じられて良い。輪郭線を使ったところに好感が持てる。色や線の使い方が丁寧で、見ていて面白い作品に仕上がっている。

デザイン部門全体の講評

個性を感じられる作品が多いのが良かったです。

